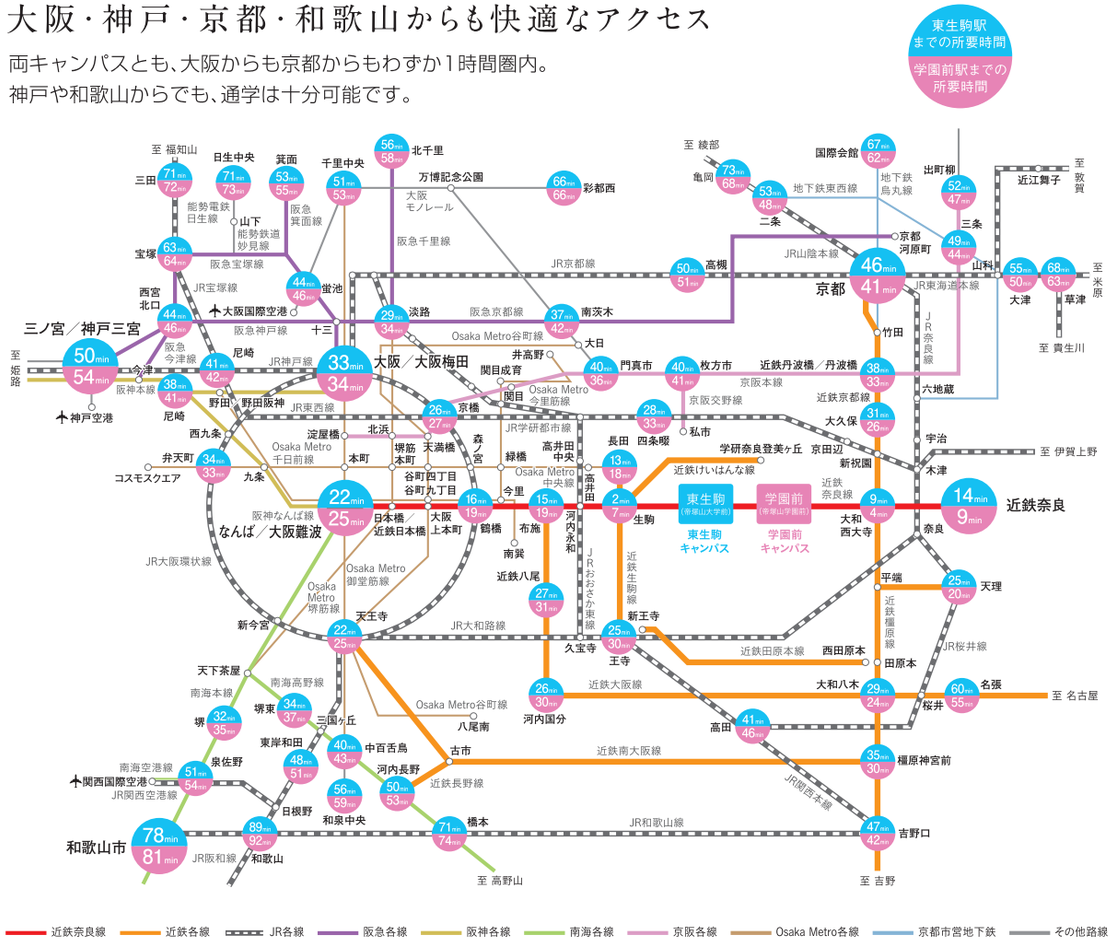
大阪・神戸・京都・和歌山からも快適なアクセス

両キャンパスとも、大阪からも京都からもわずか1時間圏内。
神戸や和歌山からでも、通学は十分可能です。

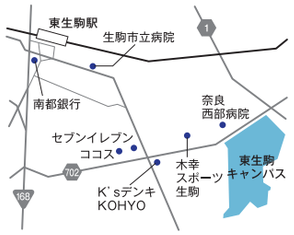


東生駒キャンパス

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1　TEL:0742-48-9122(代表)

- ●経済経営学部／経済経営学科
- ●文学部／日本文化学科　●法学部／法学科

Access
近鉄奈良線「東生駒(帝塚山大学前)」駅から奈良交通バスに乗車し、「帝塚山大学」下車。バスで約5分、徒歩なら約15分。



学園前キャンパス

〒631-8585 奈良市学園南3-1-3　TEL:0742-41-4716(代表)

- ●心理学部／心理学科　●教育学部／こども教育学科
- ●現代生活学部／食物栄養学科　●現代生活学部／居住空間デザイン学科

Access
近鉄奈良線「学園前(帝塚山学園前)」駅から徒歩約1分。

本冊子に掲載のデータは、注記のない限り、2024年5月1日現在のものです。

帝塚山大学 TEZUKAYAMA UNIVERSITY

本冊子に関するお問い合わせは

入試広報課　0742-48-9149(広報専用)
E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp
https://www.tezukayama-u.ac.jp

【編集・発行】 帝塚山大学 入試広報課　2024年7月発行

学校法人帝塚山学園　帝塚山大学大学院　帝塚山大学　帝塚山高等学校　帝塚山中学校　帝塚山小学校　帝塚山幼稚園　帝塚山2歳児教育

FACT BOOK 2024

帝塚山大学
TEZUKAYAMA UNIVERSITY

Contents

P.01　01 帝塚山学園 建学の精神
02 帝塚山大学の理念(設置の趣旨)
03 帝塚山大学の教育理念
P.02　04 歴代学長
05 帝塚山大学 沿革
P.03　06 キャンパス
07 教育研究組織
P.04　08 学生数
09 学生出身地
P.05　10 教職員数
11 国際交流
P.06　12 課外活動
13 資格取得
P.07　14 就職
P.08　15 学術・情報
P.09　16 研究
P.10　17 地域連携
P.11　18 交通アクセス

帝塚山大学 TEZUKAYAMA UNIVERSITY

実学の帝 塚山大学

01 帝塚山学園 建学の精神

「社会に有為な人材を育成する」

帝塚山学園は、初代理事長·山本藤助氏個人と、山本藤助理事長が関係する団体及び大阪電気軌道株式会社(現在の近畿日本鉄道株式会社)等からの浄財の寄付により創立され、昭和16年(1941年)2月28日付で、文部大臣より、財団法人帝塚山学園の設置認可を受けました。

建学の精神は、学園の憲法とも言うべき寄附行為第3条の「教育の目的」に定められています。それは、「国家有為ノ国民ヲ練成スルヲ以テ目的トス」であり、当時の社会背景のもと、国家の負荷に任ずべき国家有為の国民を練成するためのものでありました。

その後、昭和25年(1950年)に私立学校法が施行され、これに伴い、学園の組織は、財団法人から学校法人に変更認可されました。組織の変更を機に、寄附行為第3条の教育の目的も変更、さらにその後加筆され、現在は「この法人は、教育基本法、学校教育法及び私立学校法に従い、学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする」と謳われています。

02 帝塚山大学の理念(設置の趣旨)

本学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、広い国際的視野の上に、日本人としての深い自覚と高い識見を持ち、社会の要請に応え得る教養と創造力を備えた人材を育成するために、これに適する学問を教授研究することを目的とする。

【学則第3条】

03 帝塚山大学の教育理念

1) 広い国際的視野の上に日本の伝統·文化·社会に対する深い理解と幅広い教養を身につけ、

2) 社会の要請に応える専門知識と創造力·実践力を備えるとともに、

3) 地域と国際社会に貢献することのできる人材の養成

学園章·校章

帝塚山学園が、1941年、今のあやめ池駅近くに新しい校地を求めて旧制中学校を開設したとき、美しいアカマツ林に囲まれた環境にちなみ、松の葉とまつかさ、「帝」の文字をあしらった学園章が制定されました。赤松の持つ力強さと風雪に耐える永遠性、成長と結実、円があらわす円満と完結などの理想を象徴しています。2000年度に校章の見直しが行われ、学園章を校章として使用することになりました。

シンボルマーク

2000年度に、学生の投票により選ばれたシンボルマーク。大学の自由で明るく元気な学生を表現したもの。

「知性と判断力」を表すブルーと「思慮深さ」表すパープルで学生の瞳を、「夢と希望」を表すピンクで輪郭を表現。「親密さと好奇心」を表すオレンジで、髪の毛を表しています。

04 歴代学長

1964-1973	初 代	森 礒吉
1973-1975	第2代	渡辺 宗太郎
1976-1978	第3代	猪谷 文臣
1979-1981	第4代	音田 正巳
1982-1987	第5代	内山 龍雄
1988-1990	第6代	畠山 英夫
1991-1992	第7代	岡部 健彦
1993-1995	第8代	森永 道夫
1996-1998	第9代	小泉 進
1999-2001	第10代	岩井 宏實
2002-2004	第11代	石澤 末三
2005-2007	第12代	松岡 博
2008-2011	第13代	山本 良一
2012-2016	第14代	岩井 洋
2017-2022	第15代	蓮花 一己
2023-	第16代	奥村 由美子

子供や若い人達は学園の宝

帝塚山大学
初代学長 森 礒吉

05 帝塚山大学 沿革

- 1964年 帝塚山大学 開学(教養学部 教養学科の女子単科大学)
- 1982年 帝塚山考古学研究所 設置(1997年～帝塚山大学考古学研究所に組織変更)
- 1987年 経済学部 経済学科 設置(全学男女共学化)
- 1991年 大学院 経済学研究科 経済学専攻(修士課程)設置
- 1992年 帝塚山大学経済経営研究所 設置
  帝塚山学園芸術文化研究所 設置(2000年～帝塚山大学芸術文化研究所、2006年～帝塚山大学奈良学総合文化研究所に組織変更)
  帝塚山学園人間環境科学研究所 設置(2000年～帝塚山大学人間環境科学研究所に組織変更)
- 1993年 経済学部 経営情報学科 設置
  大学院 経済学研究科 経済学専攻(博士後期課程)設置
- 1996年 大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻(修士課程)設置
- 1997年 法政策学部 法政策学科 設置
- 1998年 経済学部経営情報学科を経営情報学部 経営情報学科に改組
  大学院 人文科学研究科 日本伝統文化専攻(博士後期課程)設置
- 1999年 教養学部を人文科学部に改組
  人文科学部 日本文化学科·英語文化学科·人間文化学科 設置
- 2000年 帝塚山短期大学を帝塚山大学 短期大学部に組織変更
- 2001年 大学院 法政策研究科 世界経済法制専攻(修士課程)設置
- 2003年 大学院 法政策研究科 世界経済法制専攻(博士後期課程)設置
- 2004年 人文科学部 人間文化学科および短期大学部を改組し、
  心理福祉学部 心理学科·地域福祉学科および
  現代生活学部 食物栄養学科·居住空間デザイン学科 設置
  帝塚山大学附属博物館 設置
- 2005年 帝塚山大学 心のケアセンター 設置
- 2006年 法政策学部 法政策学科を法政策学部 ビジネス法学科·公共政策学科に改組
  現代生活学部 食物栄養学科に管理栄養士養成課程を開設
  大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻(修士課程)設置
- 2009年 現代生活学部 こども学科 設置
  人文科学部を人文学部に、同学部英語文化学科を
  英語コミュニケーション学科に名称変更
- 2010年 法政策学部 ビジネス法学科·公共政策学科を法学部 法学科に改組
- 2011年 心理福祉学部 心理学科·地域福祉学科を心理学部 心理学科に改組
- 2012年 経営情報学部 経営情報学科を経営学部 経営学科に名称変更
  大学院 人文科学研究科 臨床社会心理学専攻(修士課程)を大学院
  心理科学研究科 心理科学専攻(博士前期課程·博士後期課程)に改組
- 2014年 大学開学50周年
  人文学部を文学部に名称変更
  文学部 文化創造学科 設置
- 2018年 経済学部 経済学科、経営学部 経営学科を経済経営学部 経済経営学科に改組
- 2019年 現代生活学部こども学科を教育学部 こども教育学科に改組
- 2020年 帝塚山大学子育て支援センター 設置(学部附置から大学附置に組織変更)
- 2024年 大学開学60周年

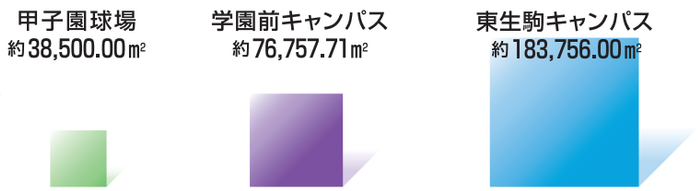
06 キャンパス

帝塚山大学は、東生駒キャンパスと学園前キャンパスの2キャンパスを有しています。
大阪や京都からもアクセスの良い両キャンパスで、特色ある教育研究活動を展開しています。

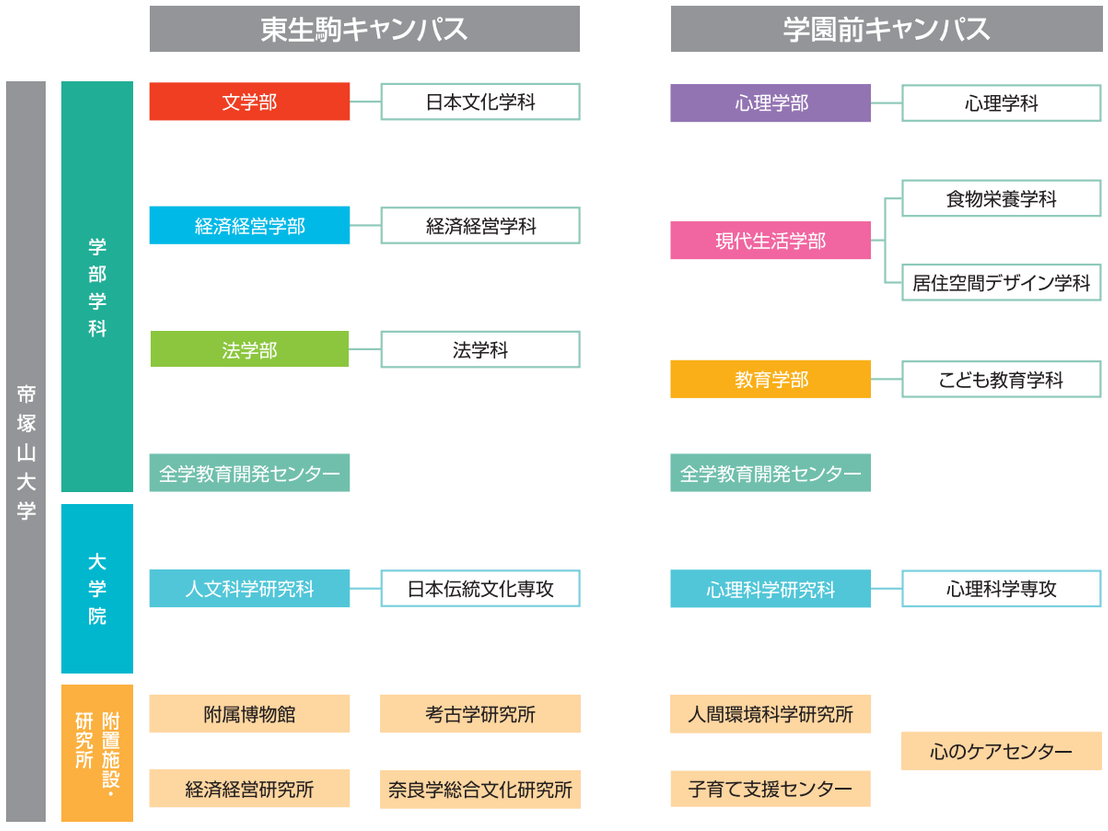
キャンパス面積

東生駒キャンパス：約183,756.00㎡
学園前キャンパス：約 76,757.71㎡（大学から幼稚園までの敷地）

両キャンパスあわせて、甲子園球場約7個分の広さ。



07 教育研究組織



08 学生数

奈良県下最多の学生・大学院生が在籍しています。
50年を超える歴史がある大学だからこそ、卒業生数は近畿でも有数の規模です。

総卒業生数 **36,103人**

在籍者数一覧表（学部生）　（人）

学年	1年			2年			3年			4年			総合計		
学部・学科	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計
文学部 日本文化学科	40	35	75	42	35	77	34	54	88	55	70	125	171	194	365
経済経営学部 経済経営学科	132	43	175	116	38	154	130	51	181	162	55	217	540	187	727
法学部 法学科	34	19	53	38	11	49	62	18	80	68	27	95	202	75	277
心理学部 心理学科	45	83	128	34	80	114	32	71	103	29	85	114	140	319	459
現代生活学部 食物栄養学科	18	66	84	16	67	83	18	91	109	18	97	115	70	321	391
現代生活学部 居住空間デザイン学科	31	32	63	33	22	55	25	44	69	36	45	81	125	143	268
教育学部 こども教育学科	20	45	65	15	41	56	18	82	100	23	75	98	76	243	319
合計	320	323	643	294	294	588	319	411	730	391	454	845	1,324	1,482	2,806

在籍者数一覧表（大学院生）　（人）

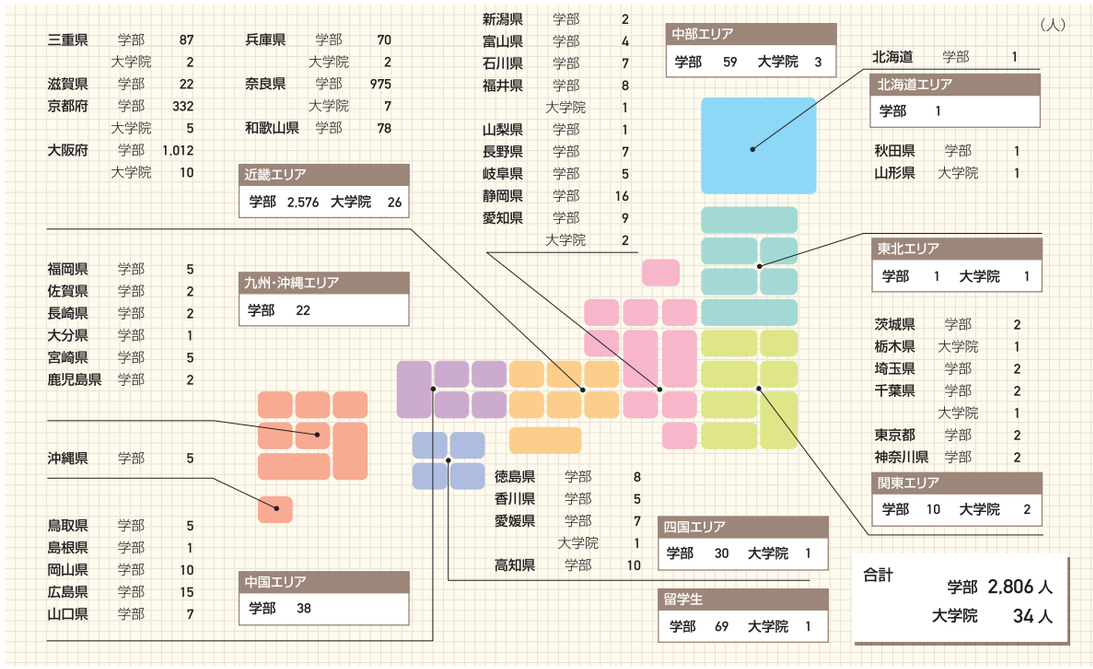
研究科・専攻	男子	女子	合計
人文科学研究科 日本伝統文化専攻 博士前期課程	5	0	5
心理科学研究科心理科学専攻 博士前期課程心理学専修	0	1	1
心理科学研究科心理科学専攻 博士前期課程臨床心理学専修	7	15	22
人文科学研究科 日本伝統文化専攻 博士後期課程	2	3	5
心理科学研究科心理科学専攻 博士後期課程	1	0	1
合計	15	19	34

学部生 **2,806人**
大学院生 **34人**

09 学生出身地

近畿地区を中心に全国から学生が集まっています。

出身エリア

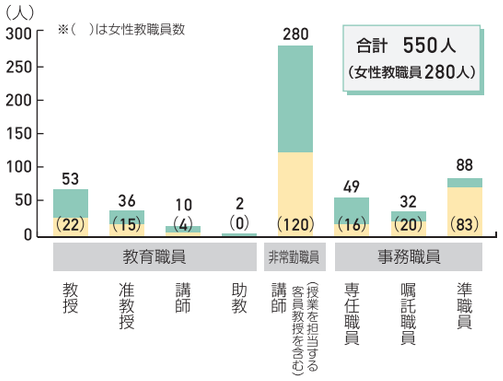


10　教職員数

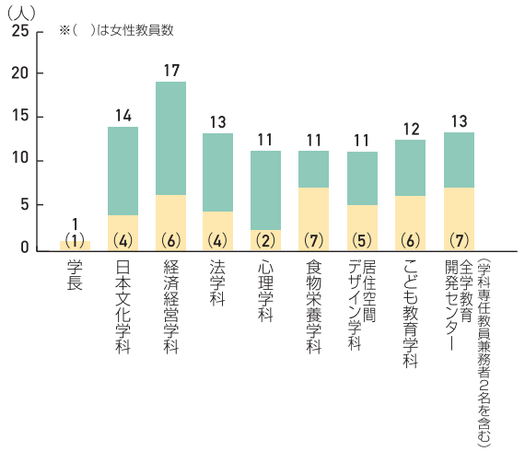
帝塚山大学で働くスタッフは、**550人**。

- 550人の教職員が在籍。うち教育職員が、101人。教員一人あたりの学生数は、27.78人です。

教職員数



学科別専任教員数



11　国際交流

アジアの拠点として、海外協定大学との交流を積極的に推進。

- 国際交流のプログラムとして、「海外留学奨学生（正規留学:1年　語学留学:6ヵ月）」、「海外短期語学研修（約1ヵ月）」を導入。
- ヨーロッパ、北米、アジア、オセアニアの6ヵ国にある13大学と協定を締結。
- 過去10年間の海外留学生派遣数は134人。

国際交流プログラム参加実績（2014～2023年度）

正規留学:1年　語学留学:6カ月

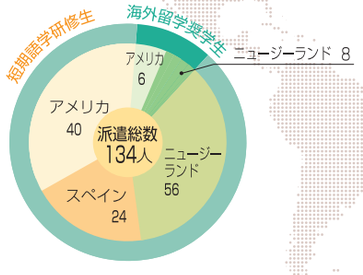
海外留学奨学生	4人	10人	海外短期語学研修	120人

※2020年度・2021年度は新型コロナウイルスの影響により中止

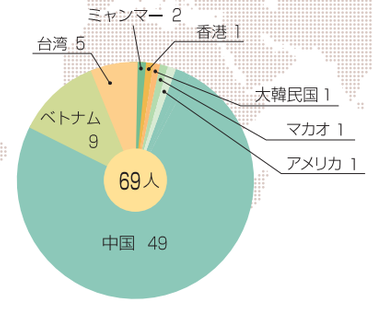
2023年度の国際交流プログラム参加者数（人）

アメリカ	海外留学奨学生（1年）	0
	海外留学奨学生（6ヵ月）	0
ニュージーランド	海外短期語学研修	0
	海外留学奨学生（1年）	1
	海外留学奨学生（6ヵ月）	0
合計		1

過去10年間の海外留学生派遣数

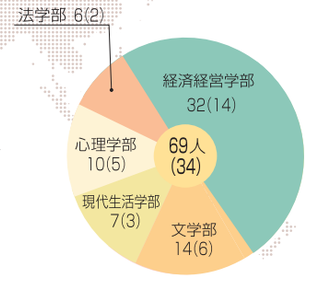


（2024年度）国・地域別学部留学生在籍者数



（2024年度）学部別留学生在籍者数

※（　）は女子内数



12　課外活動

学生会、体育会から文化会に至るまで、さまざまなジャンルのクラブやサークルが、両キャンパスで活動しています。

（2023年4月1日現在）

クラブ・サークル団体数	強化指定クラブ	クラブ	準クラブ	学生会	サークル
	女子バレーボール部 硬式野球部 レスリング部 ラグビー部	26（体育会 16／文化会 10）	4（体育会 1／文化会 3）	7	22（体育会 12：東生駒 5／学園前 7　文化会 10：東生駒 4／学園前 6）

※クラブには、強化指定クラブ4団体の数を含む

（団体）

学生会

- 代議委員会
- 執行委員会
- 学園会
- あかね祭実行委員会
- イルミネーション推進委員会
- 大学祭実行委員会
- クラブ連合協議会

体育会

クラブ
- 弓道部
- 硬式庭球部
- バドミントン部
- アーチェリー部
- バスケットボール部（男）
- 剣道部
- ソフトテニス部
- 女子バレーボール部
- 軟式野球部
- サッカー部
- 陸上競技部
- ラグビー部
- 硬式野球部
- アメリカンフットボール部
- レスリング部
- 合氣道部

準クラブ
- 楽笑Crew（ダンス）

サークル

東生駒キャンパス
- 帝塚山FC（フットサル）
- ぬぅ～でぃーず（バスケットボール）
- バレーボールサークル
- サバイバルゲームサークル（N.E.C）
- CDC（コピーダンスサークル）

学園前キャンパス
- Joker（バスケットボール）
- 卓球サークル
- バドミントンサークル
- 水泳サークル
- アイススケートサークル（フィギュア部門）
- ZION（総合スポーツ）
- ハンドボールサークル

文化会

クラブ
- 放送研究会
- 軽音楽部
- 茶道部
- 華道部
- フォークソング部
- ペンクラブ
- Jazz&Blues部
- 演劇部（劇団透り雨）
- 吹奏楽部
- 民俗學研究会

準クラブ
- 児童福祉ボランティア「どれみ♪」
- ヘルス・チーム菜良
- てづかFarm

サークル

東生駒キャンパス
- 手品サークル
- 読書サークル
- ハンドメイドサークル
- 地域交流サークルてれこん

学園前キャンパス
- Tzk Pokémon（ポケモンファン）
- ボランティアサークルひまわり
- アナログゲームサークル「PLAYER'S」
- Our Diverse Sounds（音楽サークル）
- 写真サークル（+Photo）
- 未確認生物（UMA）研究会

13　資格取得

本学では、学生のスキルアップのために必要となる資格取得に対して、さまざまなサポートを用意しています。

特別資格サポート制度（A制度）

学内成績が優秀な2年生以上の学生を対象に、よりハイレベルな資格取得への挑戦を支援する制度です。公務員対策講座や公認会計士基礎講座など、本学指定の学外提携校で実施する難関資格対策講座の受講費用を一部助成します。

特別資格サポート制度（B制度）

対象講座から年間最大2講座が

1講座 **5,000円**

2023年度利用者数 延べ **734名**

※講座により受講人数を制限する場合があります。
※1～2年生対象。

資格取得講座数	年間	36講座
資格取得講座受講者数	延べ	843名
資格合格者数（2023年度）	延べ	488名

帝塚山学園特別褒賞金制度　給付

在学中に公的資格を取得するなどのすぐれた実績をあげた学生を表彰し、一層の研鑽を奨励することを目的として褒賞金を給付する制度を設けています。

Aランク 20万円	Bランク 10万円	Cランク 5万円	Dランク 3万円
4講座に適用	2講座に適用	3講座に適用	2講座に適用

「帝塚山学園特別褒賞金制度」支給状況（2023年度）

地方公務員上級（都道府県・政令指定都市・東京特別区）行政職…1名
教員採用試験（都道府県・市）（中高）合格（Bランク）…2名
宅地建物取引士資格取得（Cランク）…2名
2級ファイナンシャル・プランニング技能検定 合格（Cランク）…4名
日商簿記2級合格（Cランク）…3名

14　就職

キャリアサポート

キャリアセンターを主軸に、教員や職員、先輩学生や卒業生が連携して、幅広くキャリアサポートを展開。
高い就職内定率は、学生自身の意欲と熱意を、大学が一丸となって支えてきた実績の証です。

就職内定率

2024年5月1日現在

就職内定率 **97.9%**

求職者数 **700名**

内定者数 **685名**

年間求人数

※2024年3月卒業生向け求人数実績

40,819件

本学に集まる求人票は年間で**40,819件**。これは就職を希望する学生一人あたり、およそ**58件**もの数になります。大卒求人倍率調査における2024年3月卒業生の求人倍率が1.71であることから考えても、本学に対する求人数は多いと言えます。

※株式会社リクルートワークス研究所調べ

年間個別面談数

キャリアサポートセンターのスタッフが学生全員と個人面談。

5,000件以上

※予約数をもとにした件数

卒業後の進路

2023年度　学部・学科別主な就職内定先企業

（順不同）

文学部　日本文化学科

大阪市教育委員会（中学校：国語）
キヤノンアネルバ株式会社
ナビオコンピュータ株式会社
コイズミファニテック株式会社
株式会社近鉄リテーリング
明治安田生命保険相互会社
株式会社アクトワンヤマイチ
京阪ホテルズ＆リゾーツ株式会社
パナソニックエイジフリー株式会社
京都農業協同組合（JA京都）

経済経営学部　経済経営学科

積水ハウス株式会社
近鉄不動産株式会社
立川ブラインド工業株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
京都中央信用金庫
株式会社百五銀行
近畿日本鉄道株式会社
株式会社ホテルニューアワジ
奈良県警察本部
近鉄ファシリティーズ株式会社

法学部　法学科

大阪府警察本部（4）
奈良県警察本部（2）
大阪市消防局
東京特別区
奈良市役所
株式会社関西みらい銀行
大阪シティ信用金庫
近鉄不動産株式会社
綜合警備保障株式会社
奈良県農業協同組合（JAならけん）

心理学部　心理学科

法務省 矯正局 大阪矯正管区
和歌山県庁
和歌山県警察本部
海上保安庁
堺市役所
京都機械工具株式会社
株式会社中京医薬品
株式会社キャリア
デュプロ株式会社
株式会社湯山製作所

現代生活学部

食物栄養学科

独立行政法人国立病院機構 近畿グループ
社会医療法人景岳会 南大阪病院
社会医療法人高清会 高井病院
医療法人徳洲会 六地蔵総合病院
公益財団法人天理よろづ相談所病院
社会福祉法人協同福祉会 あすなら苑
尾家産業株式会社
わらべや日洋食品株式会社
エームサービス株式会社
奈良県教育委員会（栄養教諭）

居住空間デザイン学科

大和ハウス工業株式会社
大末建設株式会社
住友林業ホームテック株式会社
セキスイハイム近畿株式会社
旭化成住宅建設株式会社
東建コーポレーション株式会社
三機工業株式会社
株式会社池下設計
野崎印刷紙業株式会社
大阪府庁

教育学部　こども教育学科

奈良市役所（行政職）
生駒市役所（幼稚園）
天理市役所（保育園）
大和郡山市役所（保育園）
神戸市役所（保育園）
大阪府教育委員会（小学校教諭）
大阪市教育委員会（小学校教諭）
奈良県教育委員会（小学校教諭）
京都府教育委員会（小学校教諭）
京都市教育委員会（小学校教諭）

15　学術・情報

図書館

東生駒キャンパスに本館、学園前キャンパスに分館を設置しています。

本館は、帝塚山学園創立40周年記念事業として、1978年7月31日に開館。分館は、2000年、帝塚山短期大学が帝塚山大学に組み込まれたことに伴い、大学に編入されました。

学生選書

図書館に置いてほしい本を学生自身で選ぶ「学生選書会」は、2002年度にスタートしました。年に3～4回の開催で、2023年度までに**66回**の実施を数えます。2020年度からはWeb選書も始まりました。これまでに**15,271冊**もの多岐にわたるジャンルの書籍が学生によって選書されています。

蔵書数・リポジトリ登録件数（2023年度）

2024年3月31日現在

両キャンパス蔵書数（図書）　**645,621冊**

私立大学平均所蔵冊数（図書）**338,332冊**※

※2023年度（令和5年度）学術情報基盤実態調査（令和6年3月現在）私立大学所蔵冊数総計を付表1の規模別大学一覧表記載の626校で除したもの

	蔵書数（図書）	蔵書数（視聴覚）	リポジトリ登録件数		年間入館者数（両館合計）
本館	414,230	6,424	1次情報	1,290	61,381人
分館	231,391	4,618	2次情報	228	貸出冊数（全体）
合計	645,621	11,042	1,518		19,007冊

東生駒図書館内
アクティブ・ラーニング・スペース「C³」

座席数　本館 351　分館 210　**561席**

学生選書会選書数　2003年2月～2024年3月　66回　**15,271冊**

情報

教育研究ネットワークシステム「TUNE」

教育研究ネットワークシステム、TUNE（Tezukayama University Network Evolution）は、1998年4月に東生駒キャンパスに、1999年9月には学園前キャンパスに導入されました。2024年5月1日現在、設置しているPCの台数は、両キャンパスで約**1,200台**。VectorWorks、SPSS、Adobeなど専門分野に応じた**23種**の有償ソフトを含む**41種**のソフトが、両キャンパスのPCで利用可能です。

授業支援システム「TALES」

2018年からeラーニングシステム「TALES」（Tezukayama Active Learning Education Square）を運用しています。TALES上では、オンライン会議やチャット等ビデオコミュニケーションが可能な「Zoom」、オンデマンドでもリアルタイムストリーミングでも利用できる動画配信システム「Vimeo」などにも対応しています。また、講義資料の配信、小テストの出題、レポート提出などの機能も備えており、学生の自学自習ツールとしてだけでなく、教員のアクティブ・ラーニング形式の授業にも活用しています。

附置研究所・附属博物館・センター

最新の考古学研究の成果を発信
考古学研究所
飛鳥時代以降を対象とした考古学の研究を進め、成果を刊行物で発表。研究会やシンポジウム、遺跡探訪も開催しています。
活動実績はP10へ

日本有数の瓦コレクション
附属博物館
奈良県で2番目に開設された大学附属博物館で日・中・韓の古代瓦を多数収蔵。学芸員の資格取得に必要な博物館実習が学内でできます。
活動実績はP10へ

心の問題における地域貢献の場
心のケアセンター
大学院教育の実践と研究、また心の問題における地域貢献の場として開設。公認心理師、臨床心理士の教員が常駐しています。
活動実績はP10へ

地域の子育てを総合的にサポート
子育て支援センター
子育て相談のほかに「つどいの広場」「親子教室」など多彩な子育て支援事業を展開。学生や教員の教育研究の場でもあります。2020年から大学附置。
活動実績はP10へ

「奈良学」に基づき日本文化を研究
奈良学総合文化研究所
文化的・歴史的・社会的事象から奈良を見る「奈良学」に基づき日本文化を研究。公開講座やシンポジウムも開催しています。

自然・社会・情報環境を研究
人間環境科学研究所
自然環境、社会環境、情報環境などの専門家がお互いの領域を超えて学際的に研究。シンポジウムで研究成果も発表します。

国内外の研究者による講演も実施
経済経営研究所
経済学、経営学の観点から社会問題を取り上げ研究。研究者を招いて講演会を開催するなど学術的な交流も活発です。

考古学研究所

附属博物館

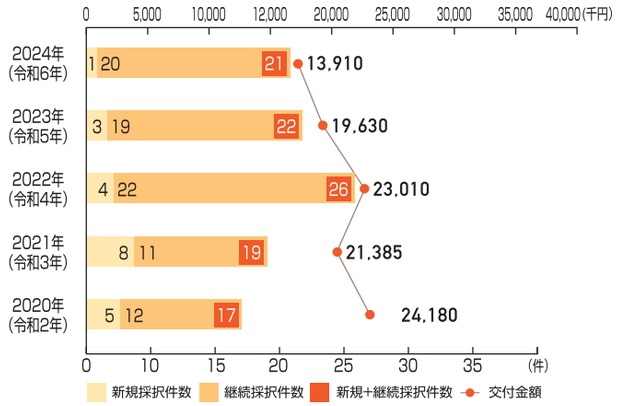
16　研　究

科学研究費

日本の学術振興のために文部科学省が支給する2024年度（令和6年度）の科学研究費の新規採択は**1件**、新規＋継続の採択件数は**20件**。交付金額は**13,910,000円**です。

● 本学では、学内で応募書類作成の説明会を行うなど、科学研究費獲得のためにきめ細かくサポートしています。

科学研究費採択件数および交付金額推移



基盤研究（B）　2022年度採択

小規模保育施設の建築計画と園外活動を支える都市環境のあり方に関する研究

代表研究者　現代生活学部 教授　辻川 ひとみ

研究期間　2022年4月1日～2026年3月31日

保育所待機児童問題の解消に向けた、多様な保育サービス拡充案の１つとして、小規模保育施設の量的拡大が進められると同時に、小規模保育施設における保育の質の向上と均一性が求められ、施設や運営における基準の統一が検討されている。本研究では、小規模保育施設の施設内容を実態調査から明らかにすることで、今後の施設計画の指針を得ると共に、小規模保育施設が行なっている園外活動の実態を明らかにし、施設を取り巻く都市環境、施設の立地条件を含めた提案を行う。

紀　要

良質の研究が良質の教育に結びつくという考えのもと、本学では、研究成果の公開のために、開学した1964年から紀要を発行しています。2023年現在、学部・研究科などから公開しているのは**15タイトル**（電子ジャーナルが7タイトル）。うち、『帝塚山大学文学部紀要』は、開学時初刊の『帝塚山大学紀要』の流れをくむものです。

出版会

帝塚山大学出版会は、本学の研究・教育とその成果の発表を助成し、学術関連図書及び教科書の刊行・頒布を目的として、2006年に設立されました。これまでに、さまざまな研究分野の学術書や教科書などを発行し、2024年現在、**32タイトル**の書籍を刊行しています。

自治体・企業・各種団体との連携協定

本学は、地域に開かれた大学として、地域の自治体・産業界と積極的に連携を図っています。大学の知的・人的資産を地域に還元し、学生を地域連携活動に参画させることで、地域の活性化に寄与することを目標としています。

自治体	
奈良県	五條市
奈良市	香芝市
生駒市	北葛城郡河合町
明日香村	三郷町
山添村	

教育委員会
交野市教育委員会
京都市教育委員会
奈良市教育委員会

企　業
株式会社南都銀行
株式会社近鉄百貨店 ※近鉄文化サロン文化事業
株式会社日本政策金融公庫
SBI FX トレード株式会社 SBIリクイディティ・マーケット株式会社
独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）西日本支社

大　学
多摩大学
奈良教育大学　※教員養成
大阪電気通信大学

公的機関ほか	
奈良県立民俗博物館	公益財団法人 古都飛鳥保存財団
大阪府立子ども ライフサポートセンター	生駒市商工会議所
大阪府中央 子ども家庭センター	生駒市観光協会
高知医療センター	奈良県中小企業家同友会
奈良県立図書情報館	全国「道の駅」連絡会
奈良市観光協会	

17　地域連携

公開講座

帝塚山大学は、地域社会への「教育研究成果の還元」を目的として、また、広く社会に開かれた大学として、学びたい意欲を持つ社会人や地域の人々を対象としたさまざまな生涯学習の機会を用意しています。

公開講座は、文化、経済、社会など、本学の教育研究分野に関連するジャンルを幅広く取り上げています。

2023年度で36年目を迎える生駒市図書館との連携講座など、地域の方々から長く愛される講座が多いのも特長です。

2024年度公開講座開催件数	
本学主催	9件
他団体との共催講座	24件
附属博物館・研究所主催講座	28件
合　計	61件

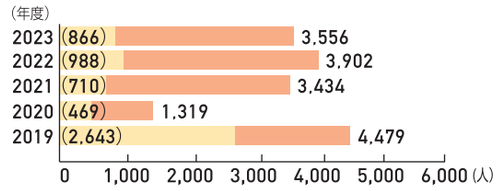
施設の開放

地域の「知の拠点」として、本学は、所有する知的資源や施設の一部を開放し、地域の文化向上をめざしています。

附属博物館・考古学研究所

学生の教育に活用すること、そして地域に開かれた大学として社会に広く開放することを目的に、2004年4月に奈良県で2番目の大学附属博物館として開設されました。約7,850点に及ぶ古代瓦を中心に、貴重な資料を広く一般に公開しています。学芸員の資格取得に必要な博物館実習も当館で実施することができます。

年間利用者数　（　）は学外利用者数



瓦所蔵数　約 7,850 点

日・中・韓の幅広い年代・種類の瓦を収蔵。調査・研究に活用するとともに一般に公開もしている

公開講座・展示

附属博物館、考古学研究所の共催で、一般を対象に講座を開催

講座名	開始年度	回数	参加者総数
市民大学講座	1997年	519回	57,786人
歴史考古学研究会	1997年	230回	4,554人

常設展示以外にも、所蔵資料をさまざまなテーマで展示

展示種類	開始年度	回数
企画展示	2008年	17回
博物館実習生による企画展示	2009年	16回
特別展示	2004年	42回

心のケアセンター

地域の人々の心の健康に関する相談施設として、2006年11月に学園前キャンパスに開設。年間1,500人もの相談者が訪れる地域のこころのケアの拠点です。
初回面談料が無料となる無料相談週間を設けているほか、親子で参加できるグループ活動なども実施しています。
また、当センターは、公認心理師（国家資格）および臨床心理士養成第１種指定大学院の研修機関も兼ねています。

子育て支援センター（まつぼっくり）

子育て支援センターは、2009年4月の現代生活学部こども学科の開設に伴い、地域の子育てを総合的にサポートする施設として学園前キャンパスに開設されました。2020年4月より、大学附置の施設として活動しています。
子育て相談のほかに、「つどいの広場」や「親子教室」など、地域の人々が参加できるイベントも多数実施しています。
また、当センターは、学生や教員の教育研究の場としても活用されています。

図書館（本館・分館）

帝塚山大学図書館では、学習および学術研究に役立てていただくために、本館・分館とも地域の人々の利用に供しています。（但し、利用には要登録及び年間利用料。また、利用サービスに制限あり）
図書館が所蔵する貴重資料を展示、公開する「貴重書展」や館内施設のアクティブ・ラーニング・スペース「C³」での公開講座など、一般を対象にしたイベントも開催し、生涯学習施設として、地域の学術的な交流拠点の役割も果たしています。